



発行 津軽中学校PTA
編集 委員会
広報 印刷
株式会社 I・M・S



「制服を変える意義」 校長 森 尚 生

令和7年度は、来年度1年生から導入する新制服に向けた準備の年となりました。かつて軍服だった学ランやセーラー服が全国的に学制服として広まって以来、実に60年もの歳月が過ぎてのこととなります。弘前市教育委員会が、セーラー服にストラックスというスタイルを各中学校に導入させたのは、今から7年ほど前のことです。戦時中を想起させるこの服装は、女子生徒の立場で考えれば酷と言わざるを得ません。ブレザー型の制服であれば抵抗感がないだろうと、制服自体の変更を検討した学校もありましたが、なぜか市教委から待ったがかかり、セーラー・ストラックスの組合せは現在も不人気のままです。青森市では制服が全国一高価であることが話題となり、市議会でも取り上げられました。令和5年には文部科学省が「通学用制服等の学用品について」という文書で、「学校及び教育委員会は保護者の負担軽減に努めること」と明記しています。青森市

内の中学校では、低価格なブレザー型制服への変更が一気に進みました。一方、弘前市立中学校は、過去に市教委の理由不明な介入があったことから、この流れに乗り遅れた感があります。本校では、学ランとセーラー服の値上げを知ってから、前述の文書にある「制服選定は校長権限である」という記述に基づき、文科省の指示どおりに手続きを進めました。予想どおり、市教委から横やりが入りましたが、適切に進めてきた取組を止める根拠も権限もありませんでした。ブレザータイプの制服導入で、保護者の負担軽減だけでなく、女子がストラックスを選択しやすくなります。また、ブレザー、ワイシャツ、ポロシャツを組み合わせたことで、気候変動への柔軟な対応も可能となります。こうした取組こそ、生徒たちが生活する「現場」が主体的に判断し、進めていくべきであることは言うまでもありません。

「津軽中学校のいいところ」みつけ 教頭 蒔 苗 康 弘



以前、校長先生が全校朝会で「意識をもって、つまり視点をもって世の中を見ると見え方が変わってきます」というお話をされました。今回はその言葉を受け、「津軽中学校のいいところは何か」という視点でこの一年を振り返ってみたいと思います。まず一つ目の良いところは、津軽中学校の生徒のあいさつです。教頭という立場上地域の方々とお話しする機会が多いのですが、「昨年よりもあいさつをする生徒が増えました」という声を、複数の方からいただきました。私自身も、朝、校長先生と玄

「今年度を振り返って」 PTA会長 一 戸 竜 基

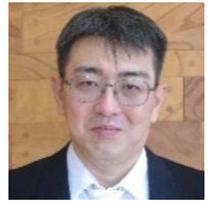


令和7年度ご卒業の生徒の皆さん、ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんにとって、この一年はどのような時間だったでしょうか。学習に真剣に向き合った日々、友人と心を通わせた何気ない時間、部活動やクラブ活動、行事等に全力で取り組んだ経験など、一つひとつが皆さんの思い出に残っていることと思います。思うようにいかなかったことや、悩みを抱えた場面もあったかもしれませんが、しかし、その経験を乗り越えようとした姿勢一

関に立っていると、自分から進んで「おはようございます」と元気にあいさつする生徒が増えたと感じています。二つ目は、津軽中学校のICTリテラシーの高さです。各教科の授業はもちろん、生徒会行事など様々な場面でICTが効果的に活用されています。より良い学びを模索している姿は、津軽中学校の大きな強みだと感じています。三つ目は、地域の力です。登下校の見守りや行事への御協力、日頃からの温かい声掛けなど、地域の皆様を支えられて津軽中学校は成り立っています。生徒たちも、地域の方々との関わりを通して、感謝の気持ちや思いやりの心を育んでいます。これからも、これらの良さを大切にし、更に伸ばしていけるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。それが、皆さんを大きく成長させたこととあります。努力を重ねたこと、仲間の存在に気付けたことは、これから先の人生において必ず支えとなるはず。PTA活動においては、津中祭でのキッチンカー企画をはじめ、学校行事を通して子どもたちの笑顔に触れる機会を多くもつことができました。保護者と教職員が協力し合い、子どもたちを中心に一体感のある時間を共有できたことを大変うれしく思っております。これもひとえに、保護者の皆様、先生方のご理解と温かいご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。今後子どもたちが安心して学び、成長できる学校づくりのため、引き続き皆様のお力添えをお願いいたします。一年間、本当にありがとうございました。

卒業生に送る言葉

新たな一歩を踏み出す君たちへ



三学年主任
外崎 靖生

君たちと学校生活を共にして三年目を迎え、いよいよ卒業の時期となりました。私自身も三年間学年主任及び理科の教科担任として無事進級し、三分の一の人たちには一年時に学級担任として接しました。今まで受け持ってきた学年とは何かが違うと感じながらの毎日でしたが、何とかここまで過ごしてきたことに、この学年に関わった全ての方々に感謝したいと思います。良くも悪くも集団意識が高い学年でした。多くの人が協力して数々の行事を成功させた一方で、なかなか仲間になじめず苦しいんだことがある人もいたことと思います。

いよいよ慣れ親しんできた君の地を離れ、それぞれの意思で前進する時が来ました。今までは違った環境の中で生活することに對して、多少不安もあると思いますが、中学校で培った経験を生かし、新しいことに挑戦し続けてください。また變動の激しい世の中ですが、信念を持ち続け生き抜いてください。



大樹満開 く突き進め！
一組学級担任
鳴海 光司
十五の春、自らの手でその扉を開けた皆さん

んは、今まさに、九年間という義務教育課程を全て修了する瞬間を迎えます。進学は保護者の手厚いサポートがあったにせよ自らの意思と責任によって決定したはずですから、責任に裏打ちされた言動が求められることはもちろん、自己責任の重さは今までは比べようのないものとなります。事あるごとに話しましたが「中学卒業」とは責任ある存在として「社会から認知」されたということを深く心に刻んでほしいと思います。卒業おめでとう。胸を張って堂々と、恐れずまっすぐ突き進め。



旅立つみなさんへ
二組学級担任
花塚 順子
二年前に出会った皆さんと「ようやくくなじんだね、頑張ったね、大人になったね」と思っていたら、もう卒業ですか。ここから君たちの道は別々になり、大きく開けます。とても楽しくて困難な道です。

「世の中は何か常なるあすか川」学習しましたね。「人の身の上にも厳しく浮き沈みし、永遠に同じ状況ではいられない。」大変なこと、ありましたね。大変なときに助けてくれたのは「人」でした。どうか、「人」を大切に。「自分」も大切に。そして激動の世の中の流れをよく見、学び、判断し、生き抜いてください。



3組バンザイ！
三組学級担任
齊藤 康子
3組の風物詩！白熱した給食じやんけん。

3組の困ったところ！奇声が轟く休み時間。3組のステキなところ！休んでいる人のプリントを整理整頓してくれること。3組の名場面！男女関係なく円陣を組んだりハイタッチをしたりできること。「人として」大事なことは、いつの世も同じです。私はそれを伝え続けたつもりです。みんなはそれを、きちんと受け止めてくれました。だから大丈夫。自信をもって、胸を張って、次のステージに進んでください。生きることは、時間を使うこと。時間を大切に。卒業おめでとう。



「前へ」
副担任
七戸 将光
これは、明治大学ラグビー部元総監督故北島忠治の言葉です。ラグビーは、ボールを持って走り、前面にある敵陣のインゴールにボールを着地させる競技です。ボールは楕円形でどこへ転がっていくか予測できません。また前進しなければならぬのに、パスは後ろへ出すルールになっています。このような競技を通して、北島は「とにかく前へ」。ためらわずに「前へ」進め。それはつらく長い道のりかもしれないが、ゴールへの最も近い道であると確信している。と説いたのです。皆さんも困難にめげず、信じる道をしっかりと進んでください。

「前へ」進め。それはつらく長い道のりかもしれないが、ゴールへの最も近い道であると確信している。と説いたのです。皆さんも困難にめげず、信じる道をしっかりと進んでください。



勉強で可能性を広げよう
サポート4担任
角田 奈央子
卒業おめでとう。三年間の中学校生活でたくさん学んできましたね。勉強は、今すぐ役立つものばかりではありませんが、毎日少しずつ続けた努力は、これから先の道を選ぶとき、必ず大きな力になります。勉強することのできるが増え、世界も広がっていきます。うまくいかない日があっても、努力は必ず自分の中に残って、積み重なっていきます。限界を自分で決めることなく、学び続けてください。皆さんの可能性が大きく広がっていくことを、心から願っています。

勉強で可能性を広げよう。卒業おめでとう。三年間の中学校生活でたくさん学んできましたね。勉強は、今すぐ役立つものばかりではありませんが、毎日少しずつ続けた努力は、これから先の道を選ぶとき、必ず大きな力になります。勉強することのできるが増え、世界も広がっていきます。うまくいかない日があっても、努力は必ず自分の中に残って、積み重なっていきます。限界を自分で決めることなく、学び続けてください。皆さんの可能性が大きく広がっていくことを、心から願っています。



いつか来る成長のために
サポート2担任
丹藤 浩司
3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

いつか来る成長のために。卒業おめでとうございます。入学時から、3年間の成長を見守れたことを嬉しく思います。目に見えるくらい成長して頼もしくなった人、まだ成長途中の人、なかなか成長が目に見えなかった人・・・一人一人の成長する度合いに個人差はありますが、部活動や委員会など自身が輝ける場所を見付けられた人の活躍が見られたことは喜ばしいことでした。人はいつでも成長することができます。早いか遅いかは関係ありません。将来、皆さんが立派な人になっていてることを信じて、卒業する日に送り出したいと思います。

英語担当 齋藤卓哉

みなさんにとって中学校3年間の冒険はどんなものでしたか。山あり谷あり、でも心に残る思い出もできたと思います。来月から新しい冒険が始まります。「幸せはいつも自分の心が決める」もの。みなさんにとって楽しくエキサイティングな冒険になることを願っています。

保健体育担当 山形和真

真剣だと、知恵が出る。中途半端だと、愚痴が出る。いい加減だと、言い訳ばかり。本気で、真剣に取り組めば大抵のことはできるもの。本気でやるから、何でも面白い。本気でやってくるから、誰かが助けてくれる。そんな「本気」な人生を。

保健体育担当 佐々木そら

ご卒業おめでとうございます！これから不安なときも迷うときもあると思いますが、それでも、どうせやるなら全力で挑んでください。結果はすぐには出なくても、必ずなるようになります。自分を信じ、胸を張って一歩を踏み出してください。

音楽担当 工藤雅文

卒業おめでとうございます。私は津軽中勤務まだ一年ですが、とても中身の濃い楽しい一年でした。特に三年生には、授業や部活でたくさんお世話になりました。とても感謝しています。これからはそれぞれの道を進むこととなりますが、充実した毎日を過ごしてください。

美術担当 蒔苗靖子

津軽中学校で三年間同じ時間を過ごした君たちへ。いよいよ卒業なんですね。ピカソの授業で伝えましたが、自分自身のリアルを追究し、今ある常識や教科書に書かれていることを変える人間になるために、勉強を学問としてとらえ努力していつてくださいます。皆さんの成長を楽しみにしています。

技術担当 山中大生

明るくにぎやかな皆さんと学べた時間は、私にとって宝物でした。うまくいかない日があっても大丈夫。失敗の中にこそ次の成長があります。これからの挑戦する心を忘れず、自分らしく歩んでください。これからの歩みが実り多いものになることを願っています。

サポーター担当 佐藤 悟

桜の蕾が膨らむように、皆さんの可能性もこれから大きく開きます。直接教えることは叶いませんでしたが、何事にも全力なその姿に、何度も心を動かされました。その純粹さを武器に、向かい風さえも味方に変えて、力強く羽ばたいてください。応援しています。

サポーター担当 西館則子

卒業おめでとうございます。四月から新しい環境になります。周囲だけでなく、自分も変わるチャンスです。今までと違う「何か」をひとつ決めて、スタートしてみましよう。別の景色が見えてくるかもしれません。

養護教諭 小沢 悠

みなさんは一年生のときから「全校生徒を楽しませるぞ！」という意気込みがずば抜けていました。直近だと新人戦壮行式での一幕。二年前の流れを汲んだ全力サブレイズ応援に圧倒されました。その心意気は様々な形で必ず花開くことでしょう！ご卒業おめでとうございます！！

ALT マイケル・エドワーズ

私は大学生になるまで日本語を勉強しませんでした。遅くに始めたのですが、新しいことを始めるのに遅いということはない。あなたたちは英語の勉強をずっと早く始めて、一生懸命勉強しました。これからも1日10分でも頑張ってください。諦めなければ可能性は無限にあります。

特別支援支援員 相馬 幸恵

皆さんと共に津軽中学校へ来て三年間の成長を見られたのをとても嬉しく思います。これからもっと成長し見聞を広め、前向きな気持ちで忘れず人生を歩んでほしいです。『人間万事塞翁が馬』は辛いとき思い出してほしい言葉です。ご卒業おめでとうございます。





卒業に寄せて

保護者メッセージ

三学年委員長 山田 美穂

卒業おめでとうございます。これまでたくさんの経験を重ね、心も大きく成長した姿を誇りに思います。嬉しいことも、悩んだことも、全てがあなたの力になっていきます。これから先も自分を信じて、一歩ずつ進んでいってください。いつも応援しています。

三学年副委員長 三浦 勝弘

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4月からは、新生活が始まりますね。どんな道でも、あなたなら大丈夫!!笑顔をお忘れずに、あなたらしく人生を楽しんでください!!

「つがる!!つがる!!」皆さんのことを応援しています。未来は、今日始まる!!



今年度を振り返って

総務委員会

委員長 北城 宗徳

今年度、津軽中学校のPTA役員を務めさせていただき、心より感謝申し上げます。先生方や保護者の皆様の温かいご協力のおかげで、無事に一年間を終えることができました。活動を通じ生徒たちが学校で生き生きと過ごす姿や、先生方の熱心なご指導を間近に感じることができ、非常に貴重な経験となりました。

特に、コロナ禍の制限が緩和されてからPTAで行っている、津中祭でのキッチンカーを呼び昼食を自由に好みの物を選んで購入できる取組は、生徒、保護者、先生方までも楽しんでくれたのではないのでしょうか。楽しそうな笑顔や真剣に取り組んでいる姿は、何よりの励みでした。

PTA活動で得た地域の皆様との絆を、今後も大切にしていきたいと感じています。一年間、先生方、保護者の皆様、地域の皆様には多大なるご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。

厚生委員会

委員長 五十嵐 温美

厚生委員になって3年、今回初めて委員長を務めさせて頂きました。主に学校内外の清掃、美化などの活動を行ってきました。春にはプランターの花植

え、自転車置き場や通学路の草取り、夏には武道館の清掃などを行いました。特に草は、ものすごく生えていて、みなさん腰が痛くなるほどがんばってくれました。忙しい中時間を作って参加してくださり、ありがとうございました。これといって委員長らしいことは何一つできませんでした。協力してくれた先生方、保護者のみなさんのおかげで無事一年間の活動を終えることができました。一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

校外委員会

委員長 本間 真奈美

今年の活動も委員の方々、担当の先生のご協力のもと、無事に終えることができました。今年もあいさつ運動・津中祭の受付下校指導を担当させていただきました。受付の時は、キッチンカーで昼食をかう生徒たちの楽しそうな姿を見て、改めてPTA活動は大事だと感じました。生徒たちが大人になってからも思い出してくれる素晴らしい活動だと思えます。下校指導では、安全を守るこの大切さと声をかけ合うことの大切さを感じました。津中祭後の下校時は、普段よりも気が緩みやすく、周囲への注意が足りなくなることがあります。そのため、生徒への挨拶とともに安全に気を付けて帰ることを伝え、無事に終えることができました。全ての生徒が、こちらから挨拶するより先に「さようなら。」と元気に声をかけてくれ、とても頼もしくして礼儀正しい生徒たちだと思ったことを覚えていませう。一年間、ご協力いただき、ありがとうございます。

広報委員会

委員長 奈良 千佳子

「広報つがる」は、今年度から新しい印刷会社にお世話になっていきます。以前の印刷会社廃業に伴い、新規開拓にご尽力くださいました千葉先生には、心から感謝しています。そして、たくさんの写真を撮ってくださいました職員の皆様、及び広報活動に携わってくださいました全ての皆様、この一年本当にありがとうございました。たくさんの方に支えられて、87号発行となります。

7月「つがる85号」編集会議・発行

学校長挨拶・PTA会長挨拶・PTA委員会紹介・新任者紹介・入学式
新入生歓迎会・二学年地域探究学習
in岩手・中体連壮行式・三学年修学旅行記

10・11月「つがる86号」企画会議・編集会議

12月「つがる86号」編集会議・発行
合唱コンクール・津中祭・芸術鑑賞教室

3月「つがる87号」発行



バドミントン、卓球ともに第1部 準優勝



弘前市障害児福祉協議会
視覚卓球大会